



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 ダイコク電機株式会社
 コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 栢森 秀行
 (氏名) 丹羽 時重

TEL 052-581-7111

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	49,290	25.4	7,675	96.5	7,841	101.5	4,506	132.2
24年3月期第3四半期	39,318	49.3	3,904	563.7	3,892	472.0	1,940	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 4,508百万円 (129.9%) 24年3月期第3四半期 1,961百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	304.85	—
24年3月期第3四半期	131.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	59,075	30,781	52.1
24年3月期	49,087	27,113	55.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 30,781百万円 24年3月期 27,026百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	30.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—		
25年3月期(予想)				30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	18.9	5,000	41.8	5,000	41.2	2,700	62.3	182.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) DIXEO株式会社
(注)詳細は、添付資料3ページの「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページの「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	14,783,900 株	24年3月期	14,783,900 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	388 株	24年3月期	334 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	14,783,534 株	24年3月期3Q	14,783,583 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページの「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) セグメント情報等.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等により緩やかな回復がみられたものの、世界景気の減速等により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、パチスロ遊技機は好調に推移していますが安定期に入りつつあります。パチンコ遊技機では、日本遊技機工業組合の新内規に対応してゲーム性の幅が広がった遊技機が投入されましたが、大きな状況変化はまだ表れていません。

顧客であるパチンコホールでは、警察庁生活安全局保安課より7月に「広告・宣伝等の適正化の徹底について」の通達が発出され、従来からの広告、営業等について見直される動きが広がっております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、ホールコンピュータ「CⅡ」との連動による機能面等が強化された新製品CRユニット「VEGASIA」や、ファン向け情報公開機器等の販売を推進しました。制御システム事業におきましては、「顧客への貢献」に向けた企画開発活動や環境対応をテーマとした研究開発への取組みを強化いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高492億90百万円（前年同期比25.4%増）、営業利益76億75百万円（同96.5%増）、経常利益78億41百万円（同101.5%増）、四半期純利益45億6百万円（同132.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(情報システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、MIRIGATEネットワークを活用したホール支援サービス「CⅡスタンダード」の一層の拡充と拡大を強化しました。また、4月に発売したCRユニット「VEGASIA」は、ホール店舗システムとの一体化による機能性の向上が高く評価され、台毎データ表示機「BIGMO」及び呼出ランプ「IL-X」は、多様な遊技機の特徴をファンに分かりやすく表示する先進性が市場に受け入れられ、販売が好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は276億36百万円（前年同期比31.3%増）、セグメント利益は64億77百万円（同43.7%増）となりました。

(制御システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、グループ企業との業務範囲・役割の再構築を行い、ソフト、ハードの企画提案に努め、表示ユニットの販売は好調に推移し、パネルやメモリ、モーター等の周辺部品の販売も増加しました。

この結果、当事業の売上高は216億61百万円（前年同期比18.5%増）、セグメント利益は28億42百万円（同223.2%増）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、有形固定資産の減損処理を行ったこと等により固定資産は減少しましたが、当第3四半期連結会計期間において売上が好調に推移したことによる売上債権の増加や、当第3四半期以降販売予定のたな卸資産の増加により、前連結会計年度末に比べ99億87百万円増加の590億75百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、短期借入金の返済を行いました。売上が好調に推移したことに伴う仕入債務の増加や、営業成績の向上による未払法人税等の増加により、前連結会計年度末に比べ63億20百万円増加の282億93百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、営業成績の向上による利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ36億67百万円増加の307億81百万円となり、自己資本比率は52.1%（前連結会計年度末比3.0ポイント下落）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期の業績予想につきましては、平成24年11月9日発表の業績予想に変更はありません。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成24年6月29日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であったD I X E O株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併を行ったことにより第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

なお、連結子会社であったD O株式会社は、株式譲渡により第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。また、持分法適用関連会社であった株式会社ラピスは、株式譲渡により第1四半期連結会計期間より持分法適用の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,755,511	16,073,753
受取手形及び売掛金	8,271,071	15,187,893
電子記録債権	76,900	3,169,100
商品及び製品	3,904,774	4,803,840
仕掛品	99,838	69,402
原材料及び貯蔵品	2,115,618	2,149,908
繰延税金資産	53,804	406,282
その他	695,269	654,356
貸倒引当金	△56,051	△80,171
流動資産合計	31,916,735	42,434,365
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,396,275	4,141,739
土地	4,294,795	4,228,792
その他(純額)	1,298,795	1,051,740
有形固定資産合計	9,989,865	9,422,271
無形固定資産		
ソフトウェア	1,673,108	1,415,017
その他	136,968	135,877
無形固定資産合計	1,810,076	1,550,895
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,221,250	2,461,521
投資不動産(純額)	879,029	974,902
長期預金	600,000	600,000
その他	1,956,213	1,899,823
貸倒引当金	△285,767	△268,392
投資その他の資産合計	5,370,725	5,667,854
固定資産合計	17,170,668	16,641,021
資産合計	49,087,404	59,075,387

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,360,901	19,829,801
短期借入金	5,825,000	—
1年内返済予定の長期借入金	400,000	358,233
未払法人税等	837,190	3,018,841
役員賞与引当金	112,857	360,450
その他	2,370,177	2,856,694
流動負債合計	19,906,126	26,424,021
固定負債		
長期借入金	1,300,000	1,041,766
退職給付引当金	180,814	228,857
役員退職慰労引当金	338,679	362,758
その他	248,053	236,477
固定負債合計	2,067,548	1,869,859
負債合計	21,973,674	28,293,880
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	25,667,938	29,424,420
自己株式	△642	△716
株主資本合計	27,021,304	30,777,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,943	3,794
その他の包括利益累計額合計	4,943	3,794
少数株主持分	87,481	—
純資産合計	27,113,729	30,781,506
負債純資産合計	49,087,404	59,075,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	39,318,334	49,290,596
売上原価	25,781,872	32,900,117
売上総利益	13,536,462	16,390,479
延払販売未実現利益戻入	5,176	15,496
延払販売未実現利益控除	—	24,005
差引売上総利益	13,541,638	16,381,970
販売費及び一般管理費	9,636,643	8,706,783
営業利益	3,904,995	7,675,187
営業外収益		
受取利息	8,454	6,641
受取配当金	5,779	6,374
不動産賃貸料	54,234	54,944
その他	98,433	159,306
営業外収益合計	166,901	227,266
営業外費用		
支払利息	37,203	16,033
支払手数料	102,000	—
修繕費	5,531	13,806
その他	34,489	30,653
営業外費用合計	179,224	60,493
経常利益	3,892,672	7,841,960
特別利益		
固定資産売却益	2,889	1,340
関係会社株式売却益	—	40,630
負ののれん発生益	—	2,685
その他	161	114
特別利益合計	3,051	44,770
特別損失		
固定資産売却損	9,759	—
固定資産除却損	97,277	17,302
減損損失	—	276,378
その他	—	54,839
特別損失合計	107,037	348,519
税金等調整前四半期純利益	3,788,686	7,538,211
法人税、住民税及び事業税	1,814,275	3,624,081
法人税等調整額	12,812	△596,006
法人税等合計	1,827,088	3,028,075
少数株主損益調整前四半期純利益	1,961,598	4,510,136
少数株主利益	20,944	3,313
四半期純利益	1,940,653	4,506,822

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,961,598	4,510,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△485	△1,149
その他の包括利益合計	△485	△1,149
四半期包括利益	1,961,112	4,508,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,940,168	4,505,673
少数株主に係る四半期包括利益	20,944	3,313

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,053,031	18,265,302	39,318,334	—	39,318,334
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,667	7,343	9,010	△9,010	—
計	21,054,699	18,272,646	39,327,345	△9,010	39,318,334
セグメント利益	4,506,302	879,358	5,385,660	△1,480,665	3,904,995

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,480,665千円には、セグメント間取引消去8,350千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,489,016千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,629,585	21,661,011	49,290,596	—	49,290,596
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,162	632	7,794	△7,794	—
計	27,636,748	21,661,643	49,298,391	△7,794	49,290,596
セグメント利益	6,477,682	2,842,115	9,319,798	△1,644,611	7,675,187

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,644,611千円には、セグメント間取引消去6,169千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,650,781千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「制御システム事業」セグメントにおいて、今後利用計画のない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として、特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、276,378千円でありませ

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「情報システム事業」、「制御システム事業」及び「アミューズメントコンテンツ事業」の3事業を報告セグメントとしておりましたが、組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、「情報システム事業」及び「制御システム事業」の2事業に変更しております。

この組織変更は、遊技機開発においてゲーム要素を更に強化することを目的としたものであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。